



# 平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年2月6日

上場取引所 東名

上場会社名 株式会社 ティア  
 コード番号 2485 URL <http://www.tear.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月7日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 富安 徳久  
 (氏名) 辻 耕平

TEL 052-918-8254

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年9月期第1四半期の業績(平成28年10月1日～平成28年12月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	2,866	8.8	408	63.8	402	62.4	254	65.2
28年9月期第1四半期	2,635	3.4	249	△24.4	248	△18.7	153	△18.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第1四半期	12.60	—
28年9月期第1四半期	7.63	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第1四半期	10,704	5,754	53.8
28年9月期	10,069	5,561	55.2

(参考)自己資本 29年9月期第1四半期 5,754百万円 28年9月期 5,561百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年9月期	—	3.00	—	3.00	6.00
29年9月期	—	—	—	—	—
29年9月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年9月期の業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,840	5.8	765	3.2	753	2.9	518	10.7	25.69
通期	11,420	7.8	1,175	7.3	1,150	7.2	765	7.4	37.94

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年9月期1Q	20,167,200 株	28年9月期	20,167,200 株
29年9月期1Q	1,470 株	28年9月期	1,470 株
29年9月期1Q	20,165,730 株	28年9月期1Q	20,165,730 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(3) 追加情報 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に、個人消費が底堅く推移したのに加え、企業の設備投資の増加等により、緩やかな回復基調となりました。また、政府の大規模な経済対策や、輸出の緩やかな持ち直し等により、今後も回復傾向は持続するものと見られておりますが、米国経済の動向とその後の国際市場へ及ぼす影響等、先行きに対する不透明感は拭えない状況です。

葬儀業界におきましては、葬儀に関する潜在的需要は人口動態を背景に年々増えるものと推計されておりますが、葬儀単価におきましては、核家族化や葬祭規模の縮小等により減少傾向が続いております。直近の業界環境といたしましては、全国の死亡人口が増加していないことや、各社の営業施策等により葬儀件数、葬儀単価共に横這いで推移しております。

かかる環境下、当社は顧客満足度の向上を図るべく「明瞭な価格体系による葬儀費用の明確化」「徹底した人材教育によるサービスの向上」「ドミナント出店による利便性の向上」を戦略の基本方針とし、直営・フランチャイズ出店による徹底した差別化戦略を展開しております。

当第1四半期累計期間におきましては、中長期目標200店舗体制の実現を目指すべく「オンリーワンブランド“ティア”」のローリング方式により中期経営計画を策定し、4項目のテーマを設け7つの戦略を推進してまいりました。会館の状況につきましては、直営47店舗、フランチャイズ39店舗の合計86店舗を展開し、既存会館におきましては、葬儀ニーズの多様化への対応及び本社機能を拡張するために「ティア黒川」の改修工事を実施いたしました。売上原価におきましては、粗供養品や香典返し等の取扱商品の見直しに加え、葬儀付帯業務の一部内製化を推進いたしました。また、経費面では「ティア黒川」改修工事に伴う修繕費等が増加する一方、人件費や広告宣伝費等が想定を下回りました。

この結果、売上高は28億66百万円（前年同期比8.8%増）となり、売上原価率は前年同期と比べ2.2ポイント低下し、販管費は前年同期比1.4%減となりました。これにより、営業利益は4億8百万円（同63.8%増）、経常利益では4億2百万円（同62.4%増）、四半期純利益は2億54百万円（同65.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### （a）葬祭事業

当第1四半期累計期間におきましては、「ティアの会」会員数の拡大を図るべく、各種会館イベントや提携団体・企業向けの営業等を積極的に取り組んでまいりました。また、提携企業で特典や割引が受けられる等の会員向け優待サービス「ティアプラス」の充実にも努めてまいりました。葬儀件数におきましては、既存店が堅調に推移したのに加え、新たに開設した会館の稼働により、葬儀件数は前年同期比7.1%増加の2,269件と順調に増加いたしました。葬儀単価におきましては、付加価値を高めた商品提案により供花や料理の単価が上昇したことにより、前年同期比3.2%増となりました。この結果、売上高は27億89百万円（同10.7%増）、営業利益は6億9百万円（同35.6%増）となりました。

#### （b）フランチャイズ事業

当第1四半期累計期間におきましては、フランチャイズの会館が前年同期と比べ2店舗増加し、これによりロイヤリティ収入が順調に増加したものの、前年同期に計上した会館開設に伴う物品売上が減少いたしました。また、紙面広告やウェブ広告を活用した新規クライアントの開発も積極的に実施し、この結果、売上高は77百万円（同32.6%減）、営業利益は23百万円（同38.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は24億70百万円となり、前事業年度末に比べ5億26百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が4億86百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は82億34百万円となり、前事業年度末に比べ1億8百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が1億24百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、107億4百万円となり、前事業年度末に比べ6億35百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は23億13百万円となり、前事業年度末に比べ1億35百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が69百万円減少したものの、短期借入金が1億63百万円、買掛金が62百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は26億36百万円となり、前事業年度末に比べ3億6百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が3億10百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、49億49百万円となり、前事業年度末に比べ4億41百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は57億54百万円となり、前事業年度末に比べ1億93百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益2億54百万円及び剰余金の配当60百万円があったこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年11月7日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期会計期間から適用しております。

(確定拠出年金制度の導入)

当社は、従業員の定年後のライフプラン支援を目的として、平成29年4月から確定拠出年金制度を導入することを予定しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,442	1,929
売掛金	217	303
商品	45	48
その他	245	196
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	1,943	2,470
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,524	4,636
土地	1,291	1,327
その他(純額)	833	809
有形固定資産合計	6,649	6,773
無形固定資産	190	180
投資その他の資産		
差入保証金	1,001	994
その他	284	285
投資その他の資産合計	1,285	1,280
固定資産合計	8,125	8,234
資産合計	10,069	10,704
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	309	371
短期借入金	120	283
1年内返済予定の長期借入金	884	922
未払法人税等	170	101
賞与引当金	112	58
その他	581	576
流動負債合計	2,178	2,313
固定負債		
長期借入金	1,672	1,983
資産除去債務	303	305
その他	353	348
固定負債合計	2,330	2,636
負債合計	4,508	4,949

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成28年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,159	1,159
資本剰余金	793	793
利益剰余金	3,608	3,802
自己株式	△0	△0
株主資本合計	5,561	5,754
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	0	0
評価・換算差額等合計	0	0
純資産合計	5,561	5,754
負債純資産合計	10,069	10,704

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
売上高	2,635	2,866
売上原価	1,645	1,728
売上総利益	989	1,138
販売費及び一般管理費	740	729
営業利益	249	408
営業外収益		
受取利息	1	1
受取保険金	7	—
広告料収入	1	1
為替差益	0	1
その他	1	2
営業外収益合計	12	6
営業外費用		
支払利息	13	11
その他	0	1
営業外費用合計	13	12
経常利益	248	402
特別損失		
固定資産除売却損	0	29
特別損失合計	0	29
税引前四半期純利益	247	373
法人税、住民税及び事業税	40	85
法人税等調整額	53	33
法人税等合計	93	119
四半期純利益	153	254

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期累計期間(自平成27年10月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,520	114	2,635	-	2,635
計	2,520	114	2,635	-	2,635
セグメント利益	449	16	466	△216	249

(注)1. セグメント利益の調整額△216百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自平成28年10月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,789	77	2,866	-	2,866
計	2,789	77	2,866	-	2,866
セグメント利益	609	23	632	△224	408

(注)1. セグメント利益の調整額△224百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。